

中京大学卒業式 総長・理事長祝辞

中京大学の卒業式にあたり、学校法人梅村学園を代表して祝意を述べさせていただきます。皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。お子さまを支えてこられたご家族の皆さま方に、心よりお慶び申し上げます。教育、指導にあたってこられた教職員の皆さまにも深く感謝いたします。

中京大学は1954年（昭和29年）に中京短期大学として開学し、その2年後に四年制大学となりました。校訓「真剣味」、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を掲げ、67年にわたって数多くの卒業生を送り出してきました。皆さんが加わることで、大学院修了生を含めた卒業生は14万人を超えることとなります。皆さんは今後、社会のさまざまな分野で活躍されている同窓の先輩と出会い、言葉を交わす機会があるでしょう。卒業後は同窓生の絆を一層大切にしてください。

さて、昨年1月に国内初の感染者が確認された新型コロナウイルスの流行拡大で、私たちの生活は一変しました。本学でも2020年度は春学期の開講を遅らせ、全学的にオンライン授業を導入するといった対応を余儀なくされました。皆さんにとっては大学最後の年であったにもかかわらず、友人と自由に会うこともままならず、例年通りの学生生活を送ることができなくなってしまい、残念な思いをされたことでしょう。皆さんの健康と安全を第一に考えての措置だったことを理解してください。

来月以降、国内でも本格的にワクチンの接種が進められる予定ですが、新型コロナによって大きく変わってしまった社会活動が、まったく元通りの状態に戻ることはあり得ません。

例えばビジネスの世界では、多人数が一堂に会する会議は手控えられ、できる限りオンラインで済ませるといった傾向が今後も続くのは間違いありません。海外も含め、遠方への出張は必要性の高い場合のみに限定されることになるでしょう。テレワークもある程度定着してきており、こうした勤務形態がさらに広がっていくことはあっても、減ることはないはずですが。密閉、密集、密着の「三密」が感染防止のポイントとされる新型コロナによって、東京一極集中の弱みが浮き彫りになった側面もあり、地方分散型社会への移行が今後のキーワードになるという声も挙がっています。

皆さんを迎え入れる社会は今、大きな転換期に突入したといえます。従来通りの考え方に立って、単に効率や生産性を追い求めるだけの企業は淘汰されていくことになるでしょう。リスクは決して小さくありませんが、その一方で大きなチャンスに満ちているとも言えます。

一例を挙げれば、デジタル化に向けた取り組みがあります。日本が海外に後れをとっているとされる分野ですが、コロナ禍で重要性は飛躍的に高まりました。政府は今年秋にデジタル庁を始動させる予定です。行政手続きのオンライン化や自治体のシステム統一が進めば、民間レベルにもIT・デジタル関連の市場拡大が波及していくでしょう。日進月歩で進化し

続けるデジタル技術をどう活用し、人間にとって暮らしやすい社会を築いていくか。新たな需要を創出し、未来を切り開いていくのは、若く柔軟な感性だと思います。

地球環境問題への取り組みもますます重要となり、温暖化対策抜きには産業の変革も経済成長もなし得ない時代となりました。菅内閣は2050年に温室効果ガスの排出をゼロにするカーボンニュートラルの実現を宣言しています。再生可能エネルギーを拡充し、脱炭素戦略を確実に推進していくためには、既存の枠組みにとらわれない大胆な発想が求められることになるでしょう。

新型コロナのダメージを受けて大きく落ち込んだ世界経済は、国や地域によってばらつきはあるものの、2021年はおおむね回復に向かうとの見通しが示されています。米国では1月、国際協調と対話を掲げるバイデン新大統領が誕生しました。香港政策などで強硬な姿勢をとる中国との関係をはじめ、不透明な要素は少なくありませんが、この先、ポスト・コロナ時代のグローバル化の枠組みがあらためて構築されていくことになるでしょう。

中京大学は、教育目標として「自ら考え、行動することのできる、しなやかな知識人の育成」を掲げています。将来が読みにくく、柔軟性が求められる時代であるからこそ、中京大学を巣立っていく皆さんのしなやかな感性に大いに期待したいと思います。

梅村学園は2年後の2023年に創立100周年を迎えます。中京大学はその翌年の2024年が開学70周年にあたります。梅村学園、中京大学は、大きな節目に向けて一層のブランド力強化を図り、これからも「選ばれる学園」であり続けるよう、全力で取り組んでいく決意です。ぜひ卒業後も母校に思いを抱き、つながりを持ち続けていただくようお願いいたします。

多くの友人をつくとともに、広く深く学んで、さらに大きく飛躍して行ってください。常に校訓「真剣味」、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を胸に、チャレンジ精神を忘れずに、自信をもって前に進んでください。

以上をもちまして、私からの祝辞とさせていただきます。

本日はご卒業、誠におめでとうございます。

2021年3月19日
学校法人梅村学園総長・理事長
梅村 清英